

美濃市古城山環境保全モデル林で 「実のなる木の植栽体験」が開催されました

令和3年12月19日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「実のなる木の植栽体験」が開催され、7名(うち子供3名)が参加されました。

植栽する実のなる木は、3年くらい育った頃に樹皮を木工細工にも利用できるオニグルミを選びました。

スタッフによる植栽方法の説明の後、体験の始まりです。苗を植える穴掘りは唐鍬を使って力仕事ですが、苗を植える作業では子供たちも一緒に根に土をかぶせていました。野生動物に食べられないように、獣害対策として苗にプラスチックの筒(ツリーシェルター)を設置しました。

参加者は筒に苗の高さの印を付け、大きく育つのを楽しみにしていました。今回植栽した場所は、見晴らしがよく、美濃市街が一望できるので、時々見に来たいとも話していました。

昼食はシェフが作った、薪で炊いたごはんのカレーライスをおいしくいただきました。



管理棟前で開会式



唐鍬を振るって苗を植える穴掘り



掘った穴に子供と一緒に木の苗を植え付け



植えた苗に獣害対策のツリーシェルターを設置



植栽場所は美濃市街を一望



昼食は薪で炊いたごはんのカレーライス

参加者からは「木を植えて楽しかった」、「木を植えるコツがわかった。」、「獣害に負けず大きく育ててほしい」等の感想をいただきました。